



令和5年10月10日
海上保安庁



ベトナム海上警察巡視船、初の神戸寄港について ～日本・ベトナム外交関係樹立50周年記念～

令和5年10月2日～6日、日越外交関係樹立50周年の記念行事の一つとして、ベトナム海上警察（VCG）の巡視船が、初めて神戸港に入港し、海保職員による救難手法の訓練展示（ワークショップ）、海上保安庁の施設見学や日越海難救助合同訓練等を実施しました。

今回の交流において、自由で開かれたインド太平洋（FOIP）の実現に向けて、日越の海上保安機関が引き続き連携・協力することの重要性が確認されました。

1 日程の概要

日付	時間帯	実施項目	内容
10月2日 (月)	午後	出迎え 入港式典	VCG巡視船入港時における岸壁での出迎え 入港式典
10月3日 (火)	午前	表敬訪問	第五管区海上保安本部への表敬訪問
	午後	ワークショップ	当庁職員による救難手法の訓練展示
交流行事		VCG巡視船船内見学	
10月4日 (水)	終日	文化研修等	※ 当庁に関する行事等なし。
10月5日 (木)	午前	交流行事	海保施設見学(大阪湾海上交通センター)
	午後		海保施設見学(巡視船せつ船内見学)
10月6日 (金)	午前	出港 合同訓練	出港見送り 日越巡視船海難救助合同訓練

2 参加者

海上保安庁: 第五管区海上保安本部、巡視船せつつ、とさ、巡視艇ふどう、ぬのびき、あわぎり、航空機、ヘリコプター、大阪湾海上交通センター ほか
ベトナム海上警察 :レー・ティン・ハイ第一管区副司令官、巡視船 CSB8004 ほか

船名:CSB8004
全長:90メートル
総トン数:3,091トン
乗員:80名程度
建造:2015年



3 結果概要

- ・ 今回の寄港に伴う各種行事やワークショップ等の親善交流は、日越外交関係樹立50周年の節目に日越海上保安機関の相互理解、信頼醸成に確実に寄与するものであり、互いに海上保安能力を向上させる等、法の支配に基づく「自由で開かれたインド太平洋(FOIP)」の実現に向け、両機関の連携をより一層強固なものとなりました。
- ・ 本行事の集大成として行われた日越海難救助合同訓練では、円滑な人命救助体制や手順の確認を行い、海難救助における両機関の連携・協力体制を強化しました。



出迎いの様子



入港式典の様子



表敬訪問の様子



救難技術ワークショップの様子



VCG 巡視船見学の様子



大阪湾海上交通センター見学の様子



巡視船せつつ見学の様子



出港見送りの様子



日越海難救助合同訓練の様子



フェアウェルの様子